



Yusuke Hayashi



Takashi Sato



Shizuka Mitsui

Takashi Sato Schubert-Zyklus

佐藤卓史

シューベルトツィクルス

ピアノ曲全曲演奏会

第25回 ピアノ・トリオⅡ

ゲスト: 林 悠介(ヴァイオリン)*

三井 静(チェロ) **

フランツ・シューベルト:

アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D821 ** (1824)

ピアノとヴァイオリンのための

幻想曲 ハ長調 D934 作品159 * (1827)

ピアノ三重奏曲 第2番

変ホ長調 D929 作品100 * ** (1827)

2027年 3月 22日(月・祝) 13:30開場 13:45プレトーク
14:00開演

TOPPANホール

入場料(全席自由): 一般5,000円 学生2,500円

design by MAI KUDO

後援: オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京、株式会社音楽之友社、ベーゼンドルファー・ジャパン、
株式会社河合楽器製作所、島村楽器株式会社、月刊ショパン、一般社団法人 日本ピアノ調律師協会、
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)、東京藝術大学音楽学部同声会

マネジメント・お問い合わせ: アスペン 03-5467-0081

チケット取扱: 電子チケットサービス teket(テケト) teket.jp/3117/80388 …QRコード…▶

TOPPANホールチケットセンター 03-5840-2222 (土日祝休) www.toppanhall.com

チケットぴあ t.pia.jp (Pコード: 339-613) アスペン 03-5467-0081

佐藤卓史公式ウェブサイト www.takashi-sato.jp



Aspen

佐藤卓史シューベルトツィクルスとは・・・

“現代随一のシューベルト弾き” 佐藤卓史がライフワークとして継続的に開催する、フランク・シューベルトのピアノ関連器楽曲(独奏曲、連弾曲、室内楽曲) 全曲を網羅的に演奏するプロジェクトです。2014年の開始以来、最新の研究成果を駆使した知的な洞察、独自の観点からの未完作品の補筆など、作曲家への愛情と共感に溢れた新しいシューベルトの世界を提示し、注目を集めています。

1909年生まれ「モデル250」に宿り続ける、古きよきウィーンの響き。

ベーゼンドルファー社はシューベルトが他界した1828年にウィーンで創業、以来世界有数のピアノメーカーの一角に君臨し続けています。独特の設計思想から生まれる温かくまろやかな音色は「ウィンナ・トーン」と呼ばれ、シューベルトに代表されるウィーンの音楽との相性は抜群です。今回使用するピアノは1909年製の「250」、「リスト・フリーゲル」の通称で親しまれながら1930年代を最後に生産終了となったモデルです。現行よりも筐体の縦幅が深く、その大きな容積に響鳴するサステインと倍音の豊かさが特徴です。この楽器はかつてウィーン国立歌劇場で使用され、現地での丹念な修復を経て日本にやってきました。来日直後の2014年には佐藤卓史がベーゼンドルファー東京サロン(当時) でのお披露目コンサートの演奏を担当しています。



至高のトリオ、初演から199年目の春。

シューベルト室内楽の最高傑作ピアノ三重奏曲第2番 D929は、1828年3月に開催されたシューベルトの生涯唯一の「個展演奏会」で披露され、大成功を収めました。初めて外国から出版されてシューベルトの真価を広く知らせ、シューマンをはじめとする熱狂的な信奉者を生み出した記念碑的作品です。佐藤卓史と親交の深い弦楽器奏者をゲストに迎え、この至高のトリオに加えてデュオを1曲ずつ披露します。ミュンヘンフィルのチェロ奏者を務める三井静とは、憂いに満ちた旋律美で名高い《アルペジオーネ・ソナタ》。そしてシリーズ第18回で丁々発止の名演を繰り広げた読響コンサートマスター林悠介とは、演奏至難の《幻想曲》を共演します。名手たちによる傑作揃いのプログラム、お聴き逃しなく！

詳しくは連動ブログで！

シューベルティアード電子版

検索



◀schubertzyklus.blog.fc2.com



林 悠介(はやし・ゆうすけ) Yusuke Hayashi, Violinist 第25回公演ゲスト(ヴァイオリン)

桐朋高等学校音楽科を首席で卒業後、ウィーン国立音楽大学、同修士課程を最優秀で修了。ブレスラ国際コンクールでの日本人初の第1位、ルイス・シガール国際音楽コンクール第1位、ニールセン国際コンクール第2位、ハノーファー国際コンクール入賞など受賞歴多数。チリ国立響、パドヴァ・ヴェネト管、ブレスラ室内管、ヴッパタール響などと共演し、好評を博した。またドイツにてノルトライン・ヴェストファーレン州立ノイエ・フィルの第1コンサートマスター(2012-2014)、ハノーファー北ドイツ放送フィルの副コンサートマスター(2014-2017)、ヴッパタール交響楽団の第1コンサートマスター(2017-2021)を務めた。2021年帰国し読売日本交響楽団のコンサートマスターに就任、2025年より第1コンサートマスターを務めている。現在、東京藝術大学音楽学部非常勤講師。



三井 静(みつゐ・しずか) Shizuka Mitsui, Cellist 第25回公演ゲスト(チェロ)

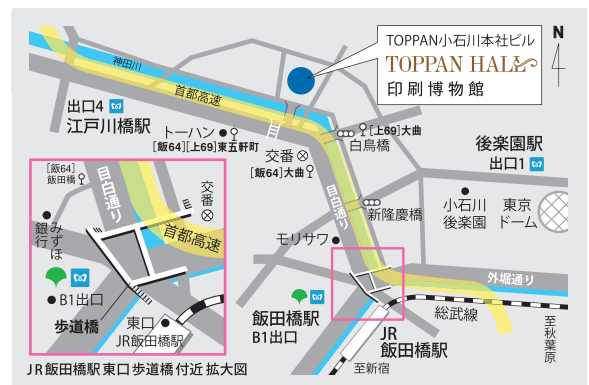
1992年神奈川県横浜市出身。ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団チェロ奏者。桐朋学園大学ソリストディプロマコースを経てザルツブルク・モーツァルテウム大学およびウィーン市立音楽芸術大学で研鑽を積む。第80回日本音楽コンクール、第15回東京音楽コンクールなど国内の多数のコンクールで入賞、国外ではエンリコ・マイナルディコンクール第1位、ジョルジュ・エネスコ国際コンクール、ブラムス国際コンクール等に入賞している。チェロを岩井雅音、毛利伯郎、ジョバンニ・ニョッキ、クレメンス・ハーゲンの各氏に師事。オーケストラ奏者としてだけでなくソロや室内楽にも積極的に取り組み、これまでにゴッティエ・カプソン、クレメンス・ハーゲン、五嶋みどりをはじめとする著名な演奏家と共演している。これまでに(財)ヤマハ音楽振興会、(公社)日本演奏連盟、(公財)ロームミュージックファンデーション、ルイ・ヴィトン財団より奨学支援を受けた。公式サイト ▶ www.shizuka-mitsui.com/ja



佐藤卓史(さとう・たかし) Takashi Sato, Pianist

2007年第11回シューベルト国際コンクールでの優勝と、その後の世界各地での演奏活動により“現代随一のシューベルト弾き”としての国際的な名声を確立。高校在学中の2001年、第70回日本音楽コンクールで優勝。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ドイツ・ハノーファー音楽演劇大学ならびにウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。その間、2006年ミュンヘンARD国際コンクール特別賞、2008年シドニー国際コンクール第4位・最優秀ショパン

演奏者賞、2010年エリザベート王妃国際コンクール入賞、2011年カントウ国際コンクール第1位、メンデルスゾーン国際コンクール最高位など受賞多数。N響、東響、日本フィル、神奈川フィル、山形響、仙台フィル、広島響、ベルギー国立管など国内外のオーケストラと共演。アンサンブルピアニストとしても評価が高く、多くの著名アーティストから絶え間ない共演オファーが寄せられている。近年は作編曲の活動を本格化させるほか、配信・執筆など幅広いチャンネルを通して音楽の魅力を次世代に伝える活動に力を入れている。公式サイト ▶ www.takashi-sato.jp



交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69] [飯64] 「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

TOPPANホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200
www.toppanhall.com

*やむを得ない事情により、曲目・出演者などが変更となる場合がございます。演奏会中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。予めご了承ください。